

AGCエンジニアリング株式会社のご案内

E²CO for a Blue Planet

Exciting & Evolution Challenge One team

私たちは、環境負荷低減技術を必要としている全世界のお客様に、最適で他にないメンブレンや素材加工技術を提供し、持続可能な地球・社会創造に挑戦します。

AGCのイオン交換膜素材をベースに、これまでの技術開発や多くの実績と経験から、お客様に最適なイオン交換膜プロセスや中空糸膜式ドライヤー製品をご提供します。

■イオン交換膜「セレミオン®」

「セレミオン®」は、AGCグループが開発・製造する炭化水素系のイオン交換膜です。

○電気透析装置

直流電流を駆動源とした脱塩・濃縮装置

- ・イオン交換樹脂のような再生操作が不要で薬剤の使用量を大幅に削減可能
- ・イオン交換膜を透過しない非イオン性化合物(有機物)と塩を効率的に分離

用途例

- ・海水濃縮による食塩製造
- ・各種食品の脱塩及び濃縮、分離・精製(醤油、アミノ酸、梅調味液等)
- ・各種工程廃水の脱塩再利用
- ・最終処分場浸出水の脱塩及び濃縮



「セレミオン®」電気透析装置

○拡散透析装置

金属表面処理工程等から排出される金属塩を含んだ廃酸液から遊離酸のみを分離回収

用途例

- ・各種金属表面処理液の精製・酸回収



「セレミオン®」拡散透析装置

■中空糸膜式ドライヤー「サンセップ®」

「サンセップ®」は、AGCのフッ素系イオン交換樹脂を用いた中空糸膜で、水蒸気分圧差を駆動源としてガス除湿または加湿を行う装置です。

用途例

- ・圧縮空気の除湿
- ・各種サンプルガスの除湿
- ・酸素・水素ガス等の加湿



「サンセップ®」製品シリーズ

AGCのフッ素樹脂製品の加工業務を受託し、製造を行っています。

■AGCのフッ素樹脂製品の製造受託



フッ素樹脂加工製品

会社概要

商号	AGCエンジニアリング株式会社
英文商号	AGC Engineering CO.,LTD.
設立	1959(昭和34)年7月1日
資本金	3億円
従業員数	152名
代表者	代表取締役社長 澄田 敏
株主	AGC株式会社【100%出資】

事業内容

- イオン交換膜「セレミオン[®]」及び透析槽の製造・販売
- 中空糸膜式ドライヤー「サンセップ[®]」の製造・販売
- AGCのフッ素樹脂製品の製造受託

許可・登録

毒物・劇物一般販売業
千葉県登録

事業拠点

本社	〒261-7119	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 WBGマリブウエスト19階	TEL 043-350-3366 FAX 043-350-3383
・東京営業所	〒104-0042	東京都中央区入船一丁目6番8号 第5ヒロタビル2階	TEL 03-5540-2915 FAX 03-5540-2916
・大阪営業所	〒530-0012	大阪府大阪市北区芝田一丁目1番4号 阪急ターミナルビル12階	TEL 06-6373-5800 FAX 06-6373-5813
・福岡営業所	〒812-0027	福岡県福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル10階	TEL 092-260-8620 FAX 06-6373-5813 (2021年6月4日より、FAXは大阪営業所と共用となります)
千葉工場	〒290-8510	千葉県市原市八幡海岸通38番地	TEL 0436-41-1151 FAX 0436-41-9860

沿革

当社は1959年(昭和34年)7月に旭硝子株式会社の関連会社 株式会社京葉製作所として設立、主に化学プラント用機器製作、据付・配管工事、メンテナンス等を手掛けてまいりました。

1985年(昭和60年)、環境・公害防止関係設備の事業会社である旭硝子環境エンジニアリング株式会社と合併、現在まで事業を拡充しました。以来、エンジニアリング部門で多くの実績をあげるとともに、高機能工業製品も創出しております。

2007年(平成19年)7月に、AGC旭硝子グループのグローバル一体経営の更なる深化のため、社名を現在のAGCエンジニアリング株式会社に改めました。

2017年(平成29年)3月に、一部の事業をAGC旭硝子に譲渡、事業再編と組織改編し、新体制でのスタートを切りました。

2018年(平成30年)3月には、カンパニービジョンを新たに制定し、新AGCエンジニアリングとして事業展開を行っております。

1959年 7月(昭和34)	(株)京葉製作所を市原市五井海岸に設立(資本金5,000万円)
1976年12月(昭和51)	旭硝子(株)千葉工場の施設部門を統合
1984年10月(昭和59)	旭硝子(株)千葉工場の電気課を統合
1985年 4月(昭和60)	旭硝子環境エンジニアリング(株)と合併し社名を旭硝子エンジニアリング(株)に変更、組織改編並びに増資(資本金3億円)
1987年 4月(昭和62)	環境事業部(東京都中央区八重洲)を文京区湯島に移転
1989年 5月(平成元年)	環境事業部ほかを東京支社として、江東区亀戸に移転拡充
1999年10月(平成11)	本社・東京支社を統合し、本社を千葉市美浜区中瀬に移転 経営資源の集約化、総合力の強化を図る
2001年 4月(平成13)	セレミオン事業部を新設
2003年 1月(平成15)	金型事業部門を分社化
2007年 7月(平成19)	旭硝子エンジニアリング(株)からAGCエンジニアリング(株)へ社名変更
2008年 1月(平成20)	セレミオン事業部と機能商品事業部を統合し、メンブレンシステム事業部(現:メンブレン事業部)を発足
2008年12月(平成20)	AGC旭硝子のフッ素樹脂製品製造のため、RCP事業推進室を設置
2013年 1月(平成25)	RCP事業推進室をコンパウンドグループ(現:コンパウンド部)へ名称変更
2017年 3月(平成29)	一部の事業をAGC旭硝子に譲渡し、事業再編と組織改編を実施
2018年 3月(平成30)	新カンパニービジョン「E ² CO for a Blue Planet」を制定

※ 旭硝子株式会社は、2018年(平成30)7月より「AGC株式会社」へ社名変更。沿革に記載の「旭硝子(株)」や「AGC旭硝子」等は、当時の表記です。